



2016.11

No.554

一般社団法人  
群馬県労働者福祉協議会  
〒379-2166 前橋市野中町361の2  
TEL027(263)3443  
URL <http://www.gunma-rofukukyo.or.jp>  
e-mail: [post@gunma-rofukukyo.or.jp](mailto:post@gunma-rofukukyo.or.jp)  
発行責任者 新島 徳之

## 報告：震災復興支援ボランティア

# 南三陸町でネギ畑の草取りを行いました!!

9月15日から18日にかけて宮城県南三陸町にて東日本大震災被災地の復興支援ボランティアを行いました。県内の労働団体・事業団体から15名の方に参加いただきました。

9月15日23時に群馬を出発し、16日6時ごろ現地到着、南三陸町感謝・絆プロジェクト推進事業として活動している【南三陸応援団】にて作業内容等確認後、作業現場に向かいました。今回の作業内容は、耕作放棄地や復旧農地の有効活用、地元雇用や地域発展を目的として活動しているグリーンファーマーズ・宮城からの募集を受け、ネギ畑の草取りを2日間実施しました。作業前は、ネギが植えられているのもわからないほど雑草が生えていましたが、2日間で見違えるほどのネギ畑にすることができました。

現地の復興状況は、海岸線沿いは現在も盛土工事が行われており、道路の整備も少しずつ進んでいました。また、高台では住宅の建設が進んでいましたが、未だ多くの方が仮設住宅や仮設店舗を主体とした生活を余儀なくされており、再建にはまだ相当の時間を要するものと思われます。



作業前のネギ畑



作業の様子



作業の様子



作業完了後の様子と参加者の皆さん



2016年度第1回勤労者福祉セミナー

# 「終活」「相続」セミナーを開催しました!



全体の様子

2016年度第1回勤労者福祉セミナーは、8月27日群馬県勤労福祉センターにて、㈱メモリードの城田聡氏、㈱山田エスクロー信託の梶山博史氏を講師に「終活」「相続」セミナーと題し開催しました。当日は県内各地より一般の方をはじめ事業団体・労働団体等から57名の方に参加いただきました。二人の講師からは、少子高齢化が進行し、経済的にも厳しいなか、人生のエンディングを考えることで今の”自分”を見つめ、自分らしく生きることや大切な人のために準備しておくことを考える良い機会となるような観点からわかりやすくお話していただきました。



講師の城田氏



講師の梶山氏

2016年度

21名の方が受講されています

## F P ファイナンシャルプランナー 3級養成講座開講

2016年度第1回F P養成講座は9月17日(土)、第2回は10月15日(土)に勤労福祉センターで開催しました。今年度は9会員から12名、一般の方9名の合計21名の方に受講いただいています。講師は全労済群馬県本部にご協力いただき、2名の方に講師をお願いしました。第1回の講師は、町田恒夫氏です。町田氏は、まずガイダンスとしてF P資格や資格試験の概要「F P技能士制度と受験の仕組み」を説明し、第1単元「ライフプランニングと資金計画」について講義を行いました。

第2回目は、浅川一広氏を講師に、第2単元「リスクマネジメント(保険の基本、生命保険、損害保険、第三分野の保険のしくみ)」について講義を行いました。

いずれも講義内容は丁寧でわかりやすく、来年1月の受験へ向けた具体的なアドバイスをしていただきました。第3回は11月19日、第4回は12月17日に予定しています。



第1回講師の町田氏



第1回講義の様子



第2回講師の浅川氏

尾瀬環境学習会  
と  
ハイキング

# 県内各地より45名が参加。 初秋の尾瀬を満喫してきました!

10月1、2の両日、尾瀬国立公園で環境学習会とハイキングを実施しました。気温は低めでしたが、好天に恵まれ、県内各地より家族連れを含め45名の方が参加しました。

初日は、尾瀬高原ホテルに集合、バスで尾瀬ふらり館へ移動。館内見学の後、東京パワーテクノロジーの方に、“尾瀬の自然環境保護活動”と“この季節の尾瀬の見どころ”について講演をいただきました。

二日目は、鳩待峠から至仏山コースへの1グループと鳩待峠から山の鼻を經由して尾瀬ヶ原を散策する2グループに分かれての行動となりました。

いずれのコースも東京パワーテクノロジーの方に付き添っていただき、散策の途中では、尾瀬の植生等について説明を受けるなど「草紅葉」を眺めながら尾瀬の自然を満喫してきました。



環境学習会



至仏山コース



広大な尾瀬ヶ原



参加者の皆さん(鳩待峠)

## 第1回出会いの広場

伊香保グリーン牧場で開催

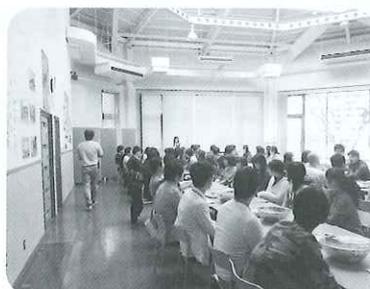
# バーベキューとフィールドビンゴで 60名が交流を深めました!!

10月15日(土)、伊香保グリーン牧場にて「2016年度第1回出会いの広場」を開催しました。県内各地より男性29名、女性31名、合計60名の方に参加いただきました。

当日は、グループ単位で自己PRを兼ねたトークタイム(7分ごとに男性がローテーションを行う)を約1時間行い、その後、食事(バーベキュー)を摂りながらの交流とフリータイム。さらに、グループの編成替えをし、食後のアイスクリーム作り体験と試食。最後に、フィールドビンゴにチャレンジしていただき、その都度参加者ごとに交流を深めていただきました。企画の合間ごとにメル・アド交換する人や、メッセージカードをやり取りする姿も見受けられ、大いに盛り上がったなかで終了いたしました。



トークタイム



アイスクリーム作り体験



フィールドビンゴ

# 給付型奨学金制度の創設等を求めるアピールへの賛同(団体・個人)のお願い

いまや大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負っています。奨学金に頼らなければ大学等に進学できず、不安定な雇用で「返したくても返せない」など、大きな社会問題になっています。給付型奨学金制度の創設・拡充等を求める署名が300万筆を超えるなど、世論の高まりを受け、本年の参議院選挙では与野党のほとんど給付型奨学金の創設を公約に掲げました。政府の一億総活躍プランや経済対策等においても、給付型奨学金の創設に向けて「検討を進める」ことが盛り込まれましたが、まだ確定したわけではなく、対象者(規模)や財源もこれからです。制度導入を確実なものとし、よりよい内容で実現するには、多くの国民が声をあげ、さらなる世論の後押しが必要です。このため、群馬労福協は、中央労福協と連携し、今秋から来年の通常国会にかけて、下記の「給付型奨学金の創設等を求めるアピール(要請事項)」について賛同(団体/個人)を呼びかけ、政府や国会関係者への働きかけを行ってまいります。つきましては、未来を担う若者を社会全体で支えるため、多くの方々にアピールへのご賛同をいただきますようお願いいたします。

変えよう! 奨学金

つくろおう!  
**給付型  
 奨学金**  
 学費と奨学金返済の  
 負担軽減を!

## 若者の学びと成長を社会全体で支えよう!



賛同募集中  
  
学ぶ者の味方! ロウフク教授です。

給付型奨学金の創設等を求める署名は303万筆を超え、政府も検討に向けて動き出しました。少しでもいい内容で実現できるよう、みんなで声をあげ、奨学金制度を変えていきましょう!

- 1 貸与から給付へ ~本来の奨学金に~**  
速やかに大学生を対象とした給付型奨学金を創設し、将来に向けて拡充しよう!
- 2 有利子から無利子へ**  
有利子から無利子への流れを加速し、無利子奨学金を大幅に拡充しよう!
- 3 学費を含めた教育費負担の軽減**  
大学等の学費の引き下げや授業料減免の拡充を
- 4 当事者の声を反映したよりよい制度へ**  
奨学金の制度設計や運営への当事者・利用者の参画、情報公開の徹底